

小児科

臨床研修期間(2年間)	
病院名 (59病院)	医療圏
横浜労災病院	横浜
昭和大学藤が丘病院	
聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院	
横浜旭中央総合病院	
菊名記念病院	
汐田総合病院	
昭和大学横浜市北部病院	
済生会横浜市東部病院	
済生会横浜市南部病院	
横浜南共済病院	
横浜栄共済病院	
横浜市立大学附属病院	
横浜市立みなと赤十字病院	
横浜市立大学附属市民総合医療センター	
横浜中央病院	
けいゆう病院	
横浜医療センター	
横浜市立市民病院	
国際親善総合病院	
戸塚共立第1病院	
東戸塚記念病院	川崎北部
聖隷横浜病院	
帝京大学医学部附属溝口病院	
聖マリアンナ医科大学病院	
川崎市立多摩病院	川崎南部
新百合ヶ丘総合病院	
関東労災病院	
川崎市立川崎病院	
医療法人社団こうかん会日本鋼管病院	
川崎協同病院	
川崎市立井田病院	
日本医科大学武蔵小杉病院	相模原
川崎幸病院	
相模原病院	
北里大学病院	
相模原協同病院	横須賀・三浦
横須賀市立うわまち病院	
横須賀共済病院	
横須賀市立市民病院	
湘南鎌倉総合病院	湘南東部
大船中央病院	
藤沢市民病院	
湘南藤沢徳洲会病院	
藤沢湘南台病院	
湘南東部総合病院	
茅ヶ崎市立病院	湘南西部
平塚市民病院	
平塚共済病院	
東海大学医学部付属病院	
伊勢原協同病院	
秦野赤十字病院	県央
大和市立病院	
海老名総合病院	
厚木市立病院	
東名厚木病院	県西
湘南厚木病院	
小田原市立病院	
山近記念総合病院	
神奈川県立足柄上病院	

専門医研修期間(標準3年間)		
基幹施設名 (14病院)	医療圏	基幹・連携施設名
横浜労災病院	横浜	神奈川県立こども医療センター
昭和大学横浜市北部病院	横浜	横浜旭中央総合病院 昭和大学藤が丘病院 総合高津中央病院
済生会横浜市東部病院	横浜	済生会横浜市南部病院 神奈川県立こども医療センター 横浜市立大学附属病院
横浜市立市民病院	横浜	けいゆう病院 神奈川県立こども医療センター
横浜市立大学附属病院	横浜	済生会横浜市東部病院 横浜市立大学附属市民総合医療センター 神奈川県立こども医療センター
神奈川県立こども医療センター	横浜	横浜南共済病院 横浜労災病院 横須賀共済病院 藤沢市民病院 小田原市立病院 茅ヶ崎市立病院 大和市立病院 済生会横浜市南部病院 横浜医療福祉センター-港南 横浜療育医療センター 横浜市立みなと赤十字病院 横浜医療センター
聖マリアンナ医科大学病院	川崎西部	聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院 川崎市立多摩病院 横浜総合病院 京浜総合病院 重症児・者福祉医療施設ソレイユ川崎
帝京大学医学部附属溝口病院	川崎西部	※神奈川県内の連携施設なし
川崎市立川崎病院	川崎西部	こうかんクリニック
日本医科大学武蔵小杉病院	川崎西部	関東労災病院
北里大学病院	相模原	横須賀市立うわまち病院 相模野病院 相模台病院 海老名総合病院
横須賀市立うわまち病院	横須賀E三浦	神奈川県立こども医療センター 横須賀市立市民病院 北里大学病院
藤沢市民病院	湘南東部	横浜市立大学附属市民総合医療センター 横浜市立大学附属病院 湘南藤沢徳洲会病院
東海大学医学部付属病院	湘南西部	秦野赤十字病院 神奈川病院 伊勢原協同病院

地域実践標準4年(専門研修を希望しない場合は7年間)			受入希望理由(病院説明事項)	キャリア形成に係るメリット(病院説明事項)
医療圏2	医療機関名	病床数		
1401横浜北部	昭和大学横浜市北部病院	689	小児拠点病院としての機能を確保するためにより多くの小児科医が必要なため。(特に2024年の働き方改革の影響が大きいです。)	小児疾患のほぼ全てを網羅する専門診療が行えること、小児の救急重症管理が行えること。
1401横浜北部	横浜労災病院	650	小児科: 当科では専攻医(1年目)を数名採用してきたが、新専門医制度が開始となり、当科族時の採用枠への応募が0となってしまう、現在は横浜市下小児科から派遣のみとなってしまうため。	小児科: 「最良の小児プライマリーケアの提供」「母と子にやさしい周産期医療」「小児科医の育成」を3本柱としている。また、小児アレルギー、小児内分泌、小児外科の常勤医がいることから幅広い小児プライマリーケアを習得することができる。当直も小児科当直と新生児当直の2当直体制をとっており新生児医療にも十分な対応ができるようになっている。小児の超音波診断で有名な徳山中央病院小児科部長のもとに1ヶ月超音波研修に派遣している。
1401横浜北部	昭和大学藤が丘病院	584	当院は1975年の開院から40年以上が経過し、耐震化や医療の高度化に向けて再整備計画をすすめています。再整備にあたっては、2018年10月に昭和大学、横浜市、東急電鉄の三者で「藤が丘駅周辺の新たなまちづくりの推進に関する協定」を締結し、駅前施設・公園・病院が一体となったまちづくりに取り組むことになりました。そのような状況下で今後ますます当院に対する期待が高まることが予想され、その期待に応えるためにもより多くの優れた医師を養成したいと考えているからです。	当院は大学附属病院としての高度な医療水準を保ちつつ、急性期医療から難病、リハビリテーションまで様々な疾患を多数診療しています。そのため多彩な症例を数多く経験することができます。大学病院でありながらも各診療科間・各部門間の垣根が低く、コミュニケーションがとりやすい環境の中で患者さん中心のチーム医療を実践しています。
1401横浜北部	済生会横浜市東部病院	562	当院は横浜市東部地域の中核病院です。救命救急センター、小児救急、参加救急などを行っています。症例数、指導医数も十分であり、地域枠の医師を育成するのに協力させていただきたいと考えております。当院はすべての診療科を有する病院であり、若い医師の経験と研修に適すると考えます。一方で病診連携や地域医療なども学ぶことができると考えます。	鶴見区、神奈川区の地域中核病院で、救命救急センター中心に24時間365日応需のER型救急医療を提供しています。多数の症例を経験することができ、若い医師の育成ができると考えています。 産科:年間出産数1,319件と多くの出産を行っています。 小児科:24時間体制の診療を行っています。 外科:手術件数5,383件と多くの手術を行っています。 麻酔科:手術件数が多く、心臓手術～日帰り手術まで多数症例があります。 内科:プライマリーケア、専門内科的疾患、内科救急など多数の症例を研修できます。 救急科:ER型の救急で、1次～3次救急を行っています。外傷センターも県内で認定されています。
1402横浜西部	公立大学法人 横浜市立大学附属市民総合医療センター	726		
1402横浜西部	横浜市立市民病院	650	2020年5月に新病院が開院するにあたり、多くの診療科で医師の増員を希望しています。また、地域枠の先生は定着率が高いと伺っており当院で意欲的に勤務していただけることを期待しています。	当院は横浜市の基幹施設として急性期医療に積極的に取り組むとともに、救命救急センター、地域医療支援病院、地域がん診療連携拠点病院、第一種感染症指定医療機関、国の地域周産期母子医療センター、そして2019年4月からはがんゲノム医療連携病院に指定されているなど、日常よく遭遇するcommon diseaseから高度な医療を必要とする重症患者や難治性疾患まで十分な経験を積むことができます。また各分野の専門医にコンサルテーションができ、直接の指導を受けることが出来ます。2020年5月には新病院が開院しますので、やる気のある先生方をお待ちしています。ぜひ一緒に新病院で頑張りたいです。
1402横浜西部	社会福祉法人親善福祉協会 国際親善総合病院	287	大学医局に派遣を依頼しているが充足されず欠員が生じているため。一部直接採用のみの科もあるが不十分。	二次救急病院としてcommon diseaseから緊急手術(外科、脳外科、循環器、産科、透折等)を要する疾患まで幅広く扱っている。緩和ケア病棟を有している。地域の医療機関と関係が密。
1402横浜西部	横浜療育医療センター	113	小児科、特に障害児医療に関わる医師不足のため。	少人数で濃厚に研修が可能であり、小児に特化した医療ケアが取得できる。
1403横浜南部	公立大学法人 横浜市立大学附属病院	674		
1403横浜南部	国家公務員共済組合連合会 横浜南共済病院	565		小児科:一般診療科から専門診療、新生児・周産期医療まで幅広く研修が可能です。小児救急も行っています。しっかり勉強する時間も作れます。デメリットとして、当院は小児研修基幹施設ではないので、後期研修施設として小児科専門医を取得するためのキャリアアップにはなりません。

1403横浜南部	神奈川県立こども医療センター	419	小児専門医療	小児科専門医に関しては基幹施設です。
1403横浜南部	済生会横浜市南部病院	500	横浜市南部地域の医療提供体制を維持し続けていくために受け入れを希望します。	横浜市南部地域の基幹病院として31の診療科と約150名の常勤医師を擁しており、日々高いレベルの医療を提供しつつ、また同様に高い教育水準を維持しております。 一方、医師働き方改革の対応をはじめ（労働時間と自己研鑽の区別、宿日直許可申請、当直明けの扱い）、他にも妊娠・子育て中の医師の当直免除や短時間勤務制度等の制度が充実しております。パパ育休の取得率が対象者の50%以上いるなど、ライフステージに合わせた専門研修を行うことができます。 なお、当院は横浜市立大学からの派遣医師がほとんどなので、当院を希望する医師については、同じ県内大学同士なので近しいリレーションシップを構築することが可能です。
1404川崎北部	帝京大学医学部附属溝口病院	400	地域への貢献の意志がある意欲的な人材を受け入れることにより、各科の充実を図ることは、当院の理念である「地域にねざした高度で良質な医療を実践します。」に合致するため。	大学病院として高度専門医療はもちろん、地域に密着しているため多くのコモディティーズを経験することができます。各科、看護師等の医療スタッフの連携やチームワークもよいです。 また、ロボット手術を導入しており、泌尿器科は全国屈指の症例数です。
1405川崎南部	川崎医療生活協同組合 川崎協同病院	267	神奈川県内への医師定着を促進させるため、受け入れを希望いたします。希望した4科は指導医体制も整っており、専攻医を受け入れる条件が整っています。また、専攻医を受け入れることで、各科が活性化し、レベルアップできるきっかけになればと思いい受け入れを希望いたしました。	当院は地域に根差した医療を提供しており、豊富なコモディティーズを経験することができます。外来から入院、退院後の在宅医療まで、一人の患者さんを通して診ることができるのも当院の研修の魅力です。また病気を診るだけでなく、社会背景にも目を向けて、一緒に問題を解決し健康づくりに取り組むことを大切にしています。
1405川崎南部	医療法人社団和光会 総合川崎臨港病院	199	人材の確保 地域に根づいた診療を行う上で、実情を理解した医師を採用したい。	医師のQOLを優先しており、ご自身の希望に沿った勤務が可能となるよう条件提示しております。
1410相模原	北里大学病院	1140	○ 総合診療部指導医数は、1名。総合診療内科指導医数は2名在籍している。（総合診療部） ○ 病院総合診療及び地域診療（在宅を含む）を含めた教育指導体制があり、地域枠医師の希望があれば受け入れたい。（総合診療部）	○ 大学病院内科総合外来における外来研修を受けることができる。（総合診療部） ○ 大学病院総合診療部と連携している在宅診療施設や、療養病院での研修および漢方外来研修や緩和センターにおける研修も可能。（総合診療部）
1410相模原	独立行政法人国立病院機構 相模原病院	458	相模原病院は免疫異常（リウマチ、アレルギー）高度専門医療で、全国に2か所のアレルギー疾患中心拠点（他国立成育医療研究センター）に指定されています。また、神奈川県の中核病院として、がん診療連携指定病院、災害協力病院、地域医療支援病院といった役割も担っています。このため、初期研修に引き続いて神奈川県内で活躍する後期研修医の確保・教育に貢献したいと考えております。	当院は世界で一番多くの食物アレルギーの患者さんを診療しています。アトピー性皮膚炎、気管支喘息、アレルギー性鼻炎などのアレルギー疾患も多数診療しています。当院小児科ではアレルギー疾患に関する専門的な知識を学ぶことが可能です。また、小児一般疾患に関しては相模原市の二次医療の当番の半分を引き受けており、幅広い疾患を見るのが可能です。
1410相模原	相模原赤十字病院附属相模原市立藤野診療所	-	相模原市の西部に位置し、旧津久井郡での力を注いでいるが、医師不足により目指すところの、安全、安心な地域医療が滞っている状況となっているため。	訪問診療、超高齢化に対する地域医療の経験
1410相模原	相模原赤十字病院附属相模原市立青野原診療所	-	相模原市の西部に位置し、旧津久井郡での力を注いでいるが、医師不足により目指すところの、安全、安心な地域医療が滞っている状況となっているため。	訪問診療、超高齢化に対する地域医療の経験
1410相模原	相模原赤十字病院附属相模原市立千木良診療所	-	相模原市の西部に位置し、旧津久井郡での力を注いでいるが、医師不足により目指すところの、安全、安心な地域医療が滞っている状況となっているため。	訪問診療、超高齢化に対する地域医療の経験
1406横須賀・三浦	公益社団法人地域医療振興協会 横須賀市立うわまち病院	417	症例が豊富であり、指導医も多数在籍していることから、地域枠医師の修練に適切であるため、受け入れを希望いたします。 内科・産婦人科系は医師数が充分とは言えず、二次医療圏の医師数の状況を踏まえても更なる増員が必要であると考えます。小児科に関しては、地域周産期母子医療センターであることから、より高度な医療の提供が必要であり、更なる医師の確保が必要であると考えます。	三浦半島80万人医療圏の中の中核的な病院です。救急車台数も年間約6000台であり、2次、3次に特化した総合病院であるため、症例が豊富であり、それを支える指導医も豊富です。派遣された医師が臨床・研究・教育の能力を発揮し、充実した仕事ができ、社会に役立てるように配慮していきます。

1406横須賀・三浦	横須賀共済病院	740	(内科)地域枠医師が各医局に入局後の場合に受入れ病院になることにより、人事異動の可能性が広がること。 (小児)県内、特に横須賀地域の医療に貢献して下さる志をお持ちの方に来ていただきたい。 (救急)地域医療を担う実践ができます。 (耳鼻)以前から医局からの医師の派遣で医師が確保されているが十分ではない。	(内科)急性期医療の経験ができる。呼・循・消・腎・脳神経・血の各科サブスペシャリティーの指導施設になっている。 (内科)周産期医療に力を入れており、NICUが充実しています。一般小児領域でも幅広く診療を行っています。 (救急)2次～3次までの幅広い救急症例を経験できます。また、救命救急センターで集中治療管理もを行っています。 (耳鼻)三浦半島の中核病院であり、自然環境の良さ、症例数が多く、数多くの症例を経験できる。
1406横須賀・三浦	シャカイフクシホウジン聖テレジア会 鎌倉療育医療センター小さき花の園	72	現在常勤医が3名枠のところ2名で診療を行っている。 各大学に医師の派遣をお願いしているが、 医局員が少ないという理由で断られている。医師不足を解消したい。	児童から成人まで、重症心身障害児の診療を学ぶことができる。
1406横須賀・三浦	医療法人徳洲会 湘南鎌倉総合病院	669	神奈川県医療を継続して担う人材を確保・育成したい為。	超急性期病院として24時間、365日すべての救急車収容要請を受け入れるを実践しており、豊富な臨床経験を積むことが出来ます。 現在当院では、がん診療はもとより、世界的に新しいカテーテル、ロボット手術、心臓手術、内視鏡的外科手術、トモセラピー、陽子線といった高精度放射線治療、さらには臓器移植、再生医療など次世代の新しい治療を提供できる病院として運営しております。
1407湘南東部	藤沢市民病院	536	—	—
1407湘南東部	医療法人徳洲会 湘南藤沢徳洲会病院	419	神奈川県湘南東部地域の地域医療を支える当院救急や感染症チーム、およびそのバックアップとしての臨床はもちろん、県下での臨床教育に意欲のある若手医師の採用を積極的にやりたい。層の厚い当院の屋根瓦式教育は、次世代の地域医療を担っていく若手～中堅医師のニーズに沿った良質な研修/指導環境が提供できていると自負している。	当院では日常遭遇する疾病と障害等に対して適切な初期対応と必要に応じた継続的な診療を全人的に提供するとともに、地域のニーズを踏まえた疾病の予防、介護、看となど保健・医療・介護・福祉活動に取り組み絶えざる自己研鑽を重ねながら、地域で生活する医師を生活する人々の命と健康に関わる幅広い問題について適切に対応する医師を育成します。また辻堂駅すぐの立地で、敷地内には職員専用の保育園があります。
1408湘南西部	東海大学医学部付属病院	804	本院が属する神奈川県西部地域は県内でも相対的に医師不足地域であり、将来に渡り、地域医療に貢献する医師の育成と確保を図るため。	特定機能病院として高度医療を提供すると共に、神奈川県ドクターヘリを運用する高度救命救急センターを併設しています。また、総合周産期母子医療センターや造血幹細胞移植地域拠点病院、地域がん診療連携拠点病院として、専門的診療を行っています。
1408湘南西部	東海大学医学部付属大磯病院	312		
1408湘南西部	平塚市民病院	416	当院においては、医師不足に困窮している診療科があります。また、救急車搬送患者数は、10,703人(令和4年度)と全国的に見ても上位に入る多さであることから、「地域医療支援病院」として地域のニーズに応える医療を展開する中で、今後も引き続き安定して患者を受け入れるためにも、是非、医師の派遣を要望します。	当院は、温暖な気候で過ごしやすい地域である神奈川県西部に位置し、「湘南西部」の中心地である平塚市において、高度急性期医療を展開している病院です。29診療科のもと、各科症例数も多いので、さまざまなスキルを積むことができ、幅広い科目で専門医の資格を取得することもできます。湘南地域で地域密着型の医療を提供する自治体病院の一員として、共に活躍していただける先生をお待ちしています。
1409県央	社会医療法人ジャパンメディカルアライアンス 海老名総合病院	479	当院は、昭和58年地域の皆様へ誘致頂く形で海老名市に開院致しました。 これまで神奈川県中央地域の中核的医療機関として地域に医療提供を行って参りました。 従来以上に医療を通じた地域貢献を果たしていく為にも受入れを希望しております。	当院は、神奈川県海老名市に加え、座間市、綾瀬市を含む県央地域約34万人の診療圏を有する急性期中核病院です。 平成29年には県央地域初の救命救急センターを開院し、更なる高度急性期医療を提供できるよう日々取り組んでおります。 各診療科において専門性の高い医師が多く在籍しておりますので、数多くの様々な症例を積む事が可能です。
1411県西	小田原市立病院	417	当院は、県西地域の基幹病院として、26の診療科を備え、急性期、高度医療や救急 医療を担うとともに、地域周産期母子医療センターとして小児、周産期救急、また、脳神経疾患、整形外科疾患、外科疾患などあらゆる分野の急性期疾患に対応しています。 また、当院循環器センターでは急性冠症候群や心不全、不整脈などの心臓疾患全般だけでなく、全身の血管に関わる診断、治療を積極的に行っております。 全国的な医師不足の中、当院でも医師の招聘に苦慮しており、今後も県西地域の基幹病院としての役割を担っていくためには一人でも多くの医師を必要としていることから神奈川県「地域枠医師」の受け入れを希望するものです。	当院は地域の基幹病院として非常に幅広い症例を扱っています。また、病棟連携や 病診連携、診療科間の連携が密であり、「顔の見える関係」で働ける強みがあります。 当院で地域枠医師に勤務いただき地域医療に貢献していただくとともに、当院に勤務する多くの若手医師と互いに切磋琢磨しながら一人でも多くの医師が地域医療に従事してもらえんことを期待しています。 また、当院は、多くの診療科の指定研修施設として認定を受けており、地域の基幹病院の立場から非常に幅広い症例を扱っているため、多くの若手医師を積極的に受け入れて地域医療に貢献できる医師の育成に力を入れています。また、診療科間の連携も密に行われていることから診療しやすい勤務環境が整っています。